

# オープン CAE シンポジウム 2018 印刷用原稿の書き方 (和文表題)

## LaTeX のテンプレート (和文副題)

氏名<sup>1†</sup> 氏名<sup>2</sup> 氏名<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 所属 <sup>2</sup> 所属 <sup>3</sup> 所属

## Manuscripts preparation guide for the OpenCAE symposium 2018 (English Title)

### The case of LaTeX (English Sub-Title)

Firstname FAMILYNAME\* Firstname FAMILYNAME\*\* Firstname FAMILYNAME\*\*\*

\*affiliation \*\*affiliation \*\*\*affiliation

**Keywords:** Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

## 1. 原稿について

### 1.1 様式

用紙 A4 です.

余白 上 25mm, 下 25mm, 右 20mm, 左 20mm です.

段組 1 段組です.

頁数 最小 1 ページ, 最大 8 ページです.

### 1.2 本文

言語 日本語または英語です.

句読点 本文が日本語の場合, 句読点として, 全角の読点「,」(カンマ)と句点「.」(ピリオド)を用いてください.

題目・所属 題目と所属については, 以下とします.

- 本文が日本語の場合, 日本語での題目, 著者名と所属の記載に続けて, 英語でも同内容を記載してください.
- 本文が英語の場合, 英語の題目および著者名と所属のみの記載でも結構です.

キーワード 講演内容を良く表すキーワードを最低 3 語, 通常 5 語程度選定し, 英語で記入ください.

字体 字体は, それぞれ以下とします.

本文 明朝体・Serif 系 (Times New Roman など) を使用してください.

題目・所属・キーワード・見出し ゴシック体・Sans-serif 系 (Helvetica など) を使用してください.

文字の大きさ フォントの大きさは, それぞれ以下とします.

題目 14 ポイントです.

副題・大見出し 12 ポイントです.

本文・所属・キーワード・図表キャプション・大見出し以外の見出し 10 ポイントです.

参考文献 参考文献については, 以下とします.

- 参考文献は, 本文中の引用箇所の末尾に角括弧をつけた番号で表し, 本文の末尾にまとめて列記してください.
- WEB ページについても, 参考文献 [1] 等を参考にして, URL やアクセス日付を明記してください.

### 1.3 図表

言語 図表中の記号およびキャプションは英語とします.

<sup>†</sup> E-mail address of corresponding author: [corresponding.author@opencae.or.jp](mailto:corresponding.author@opencae.or.jp)

**字体・文字の大きさ** 明瞭である限り、図表中の字体や文字の大きさは任意です。

**本文中での参照** 図 1, 表 1などと記載してください。

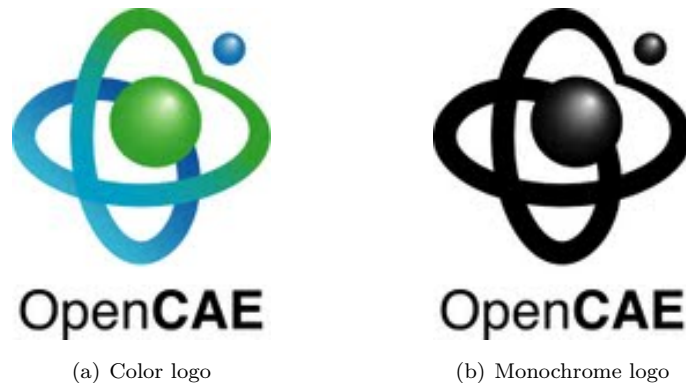


Fig. 1 Logo of the OpenCAE Society

## 2. 原稿提出について

**ファイル形式** PDF 形式で提出ください。

**ファイルサイズ** 最大 **20MB** です。

**フォント** 提出される PDF ファイルに全てのフォントが埋め込れている事を確認ください。

**URL** できるだけ URL にはリンクを付加してください。

**提出方法** オープン CAE シンポジウム 2018 の WEB ページをご参照の上、提出してください。

## 3. お問い合わせ

ご不明点については、お手数ですが、表 1のシンポジウム事務局まで、電子メールでお問い合わせください。

E-mail address	symposium2018@opencae.or.jp
----------------	-----------------------------

Table 1 Secretariat of the OpenCAE symposium 2018

## 参考文献

- [1] 科学技術情報流通技術基準参照文献の書き方 SIST 02 - 2007, 独立行政法人科学技術振興機構 (2007).  
<http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf> (accessed 2015-09-29).